

平成28年度宮城県歯と口腔の健康実態調査結果概要

1 目的

この調査は、県民の歯と口腔の健康実態と生活習慣や歯科保健行動との関係性等を把握し、「宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」の取組状況及び各目標の最終評価並びに次期計画策定に向けた見直しに係る基礎資料とし、今後の歯科保健施策の推進に資するために実施するもの。

2 実施主体 宮城県

3 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県全域
- (2) 対象者 対象地区に居住する20歳～84歳までの男女1,170人
- (3) 抽出方法

調査必要地区数について県内10ブロックに分けたブロック毎に層化クラスター抽出により20地区とし、4地区分は平成28年歯科疾患実態調査（厚生労働省）の結果を活用し、16地区分は同時に実施予定の「平成28年宮城県県民健康・栄養調査」において選定した50地区の中から選定した。

4 調査方法

調査は、自記式質問調査と口腔診査とし、調査員が調査世帯を訪問して調査票の配布及び調査趣旨の説明を行い、各対象地区に設定した診査会場において歯科医師による口腔診査を行い、調査票を回収した。また、口腔診査への参加が難しい場合には、訪問時に自記式質問調査票のみ回収した。

5 調査結果

(1) 協力人数（協力率）

- 口腔診査 240人（20.5%）
 - 内訳〔構成割合〕 性別：男性97名〔40.4%〕、女性143名〔59.6%〕
 - 65歳以上の高齢者：120名〔50.0%〕
- 自記式質問調査 592人（50.6%）
 - 内訳〔構成割合〕 性別：男性265名〔44.8%〕、女性327名〔55.2%〕
 - 65歳以上の高齢者：219名〔37.0%〕

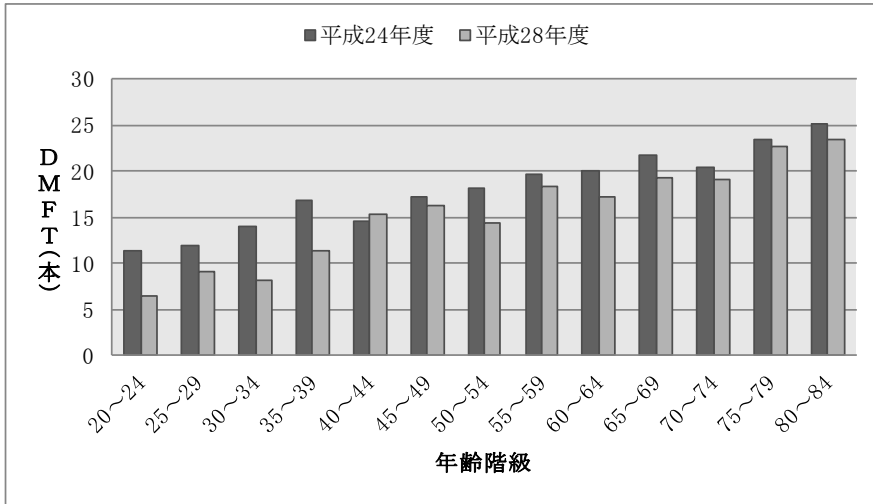
(2) むし歯とその処置状況等について

一人平均むし歯経験歯数（DMFT）は、20～24歳では17.8本、40～44歳では15.4本、60～64歳では17.2本、80～84歳では23.5本であり、前回調査（平成24年度調査）と比較すると総数で0.7本減少しており、ほぼ全ての年齢階級で減少していた（図1）。

健全歯数は、20～24歳では21.0本、40～44歳では13.2本、60～64歳では11.3本、80～84歳では4.5本であり、前回調査と比較すると総数で1.0本減少しており、70～84歳の年齢階級で減少していた（図2）。

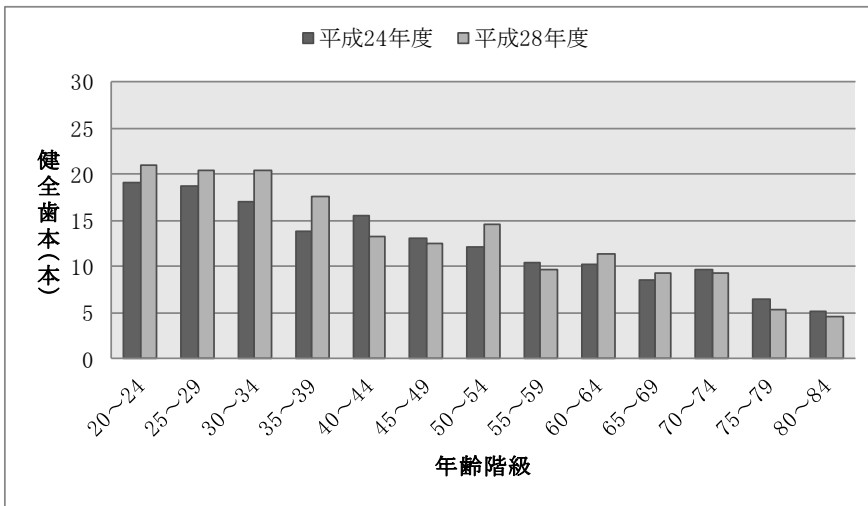
未処置歯数は、20～24歳では1.5本、40～44歳では2.0本、60～64歳では0.8本、80～84歳では0.6本であり、前回調査と比較すると総数で0.6本減少しており、40～49歳を除いた年齢階級において減少していた（図3）。

図1 年齢階級ごとの一人平均むし菌経験菌数(DMFT)



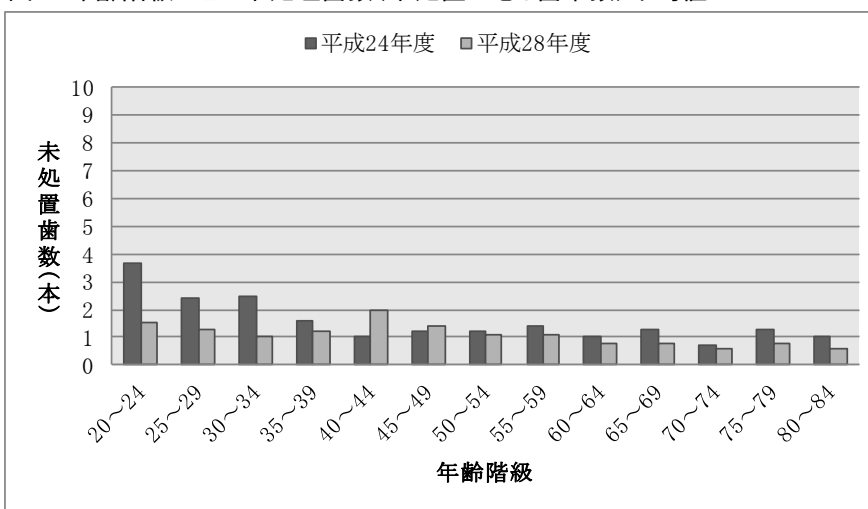
年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)
20~24	11.3	6.5
25~29	11.9	9.1
30~34	14.0	8.2
35~39	16.9	11.3
40~44	14.6	15.4
45~49	17.3	16.3
50~54	18.1	14.4
55~59	19.6	18.4
60~64	20.0	17.2
65~69	21.8	19.4
70~74	20.4	19.1
75~79	23.5	22.8
80~84	25.2	23.5
85~	27.6	-
総数	18.5	17.8

図2 年齢階級ごとの健全歯数平均値



年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)
20~24	19.2	21.0
25~29	18.7	20.4
30~34	17.1	20.5
35~39	13.8	17.6
40~44	15.5	13.2
45~49	13.1	12.5
50~54	12.2	14.6
55~59	10.5	9.6
60~64	10.3	11.3
65~69	8.5	9.3
70~74	9.7	9.4
75~79	6.4	5.4
80~84	5.1	4.5
85~	2.2	-
総数	11.8	10.8

図3 年齢階級ごとの未処理歯数(未処置のむし菌本数)平均値



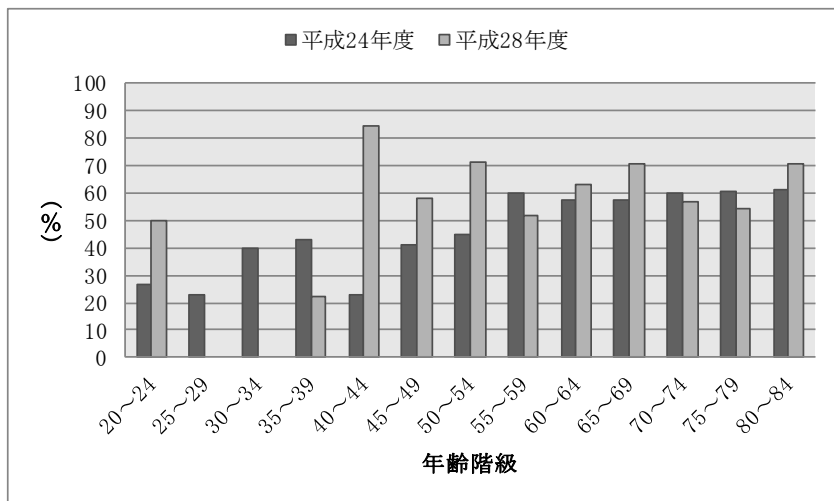
年齢階級 (歳)	平成24年度 (本)	平成28年度 (本)
20~24	3.7	1.5
25~29	2.4	1.3
30~34	2.5	1.0
35~39	1.6	1.2
40~44	1.0	2.0
45~49	1.2	1.4
50~54	1.2	1.1
55~59	1.4	1.1
60~64	1.0	0.8
65~69	1.3	0.8
70~74	0.7	0.6
75~79	1.3	0.8
80~84	1.0	0.6
85~	2.2	-
総数	1.5	0.9

なお、80歳で現在歯が20本以上の8020達成者は、80～84歳の年齢階級では41.2%であった。60歳で現在歯が24本以上の6024達成者は、60～64歳の年齢階級では77.8%であった。

(3) 歯肉の状態について

大多数の年齢階級において、歯周疾患を有する者（歯周ポケットが4mm以上の者）の割合が50%を超えていた。前回調査と比較すると該当者合計の割合が10ポイント増加し、40～54歳の年齢階級で大きく増加した（図4）。

図4 年齢階級ごと歯周疾患を有する人の割合
(歯周病(4mm以上の歯周ポケットを有する人)の割合)

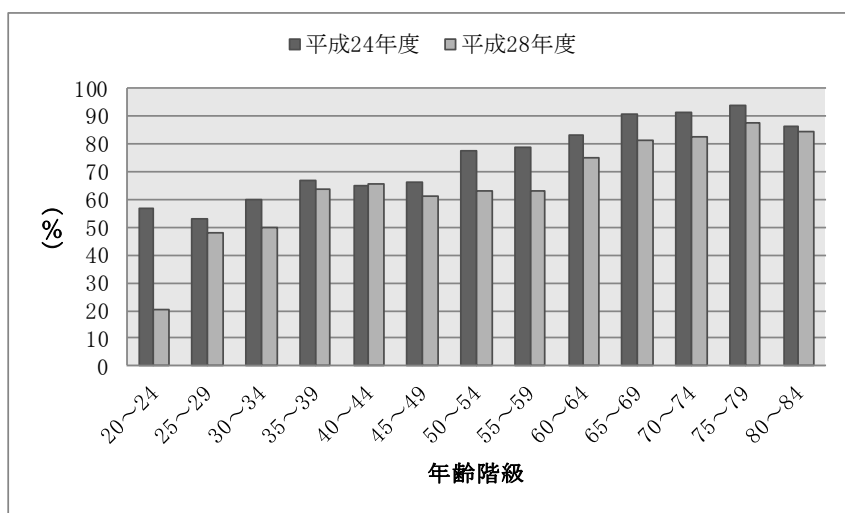


年齢階級 (歳)	平成24年度 (人)	平成24年度 (%)	平成28年度 (人)	平成28年度 (%)
20～24	14	26.4	1	50.0
25～29	14	22.6	-	-
30～34	25	39.7	-	-
35～39	35	43.2	2	22.2
40～44	18	22.8	11	84.6
45～49	28	41.2	7	58.3
50～54	37	44.6	10	71.4
55～59	40	59.7	13	52.0
60～64	53	57.6	17	63.0
65～69	47	57.3	31	70.5
70～74	57	60.0	20	57.1
75～79	51	60.7	13	54.2
80～84	46	61.3	12	70.6
85～	1	20.0	-	-
該当数	466	47.1	137	57.1
総数	989		240	

(4) 歯科保健行動について

『かかりつけ歯科医院を持っていますか』の問いには69.4%があると回答し、前回調査と比較すると6.9ポイント減少した（図5）。若年者よりも年配の方、男性よりも女性がかかりつけ歯科医院を持つ割合が高かった。

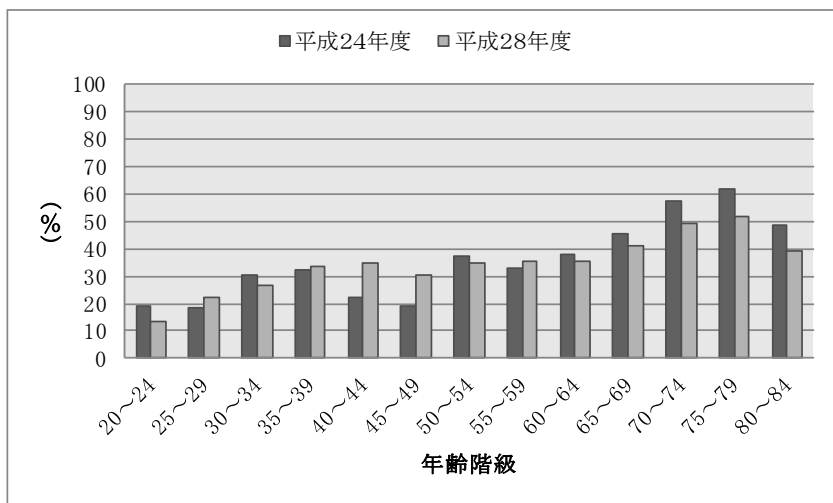
図5 年齢階級ごとかかりつけ歯科医を持つ人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度 (人)	平成24年度 (%)	平成28年度 (人)	平成28年度 (%)
20～24	30	56.6	3	20.2
25～29	32	53.3	13	48.1
30～34	37	59.7	15	50.0
35～39	54	66.7	23	63.9
40～44	50	64.9	38	65.5
45～49	45	66.2	30	61.2
50～54	62	77.5	29	63.0
55～59	53	79.1	34	63.0
60～64	75	83.3	42	75.0
65～69	72	91.1	69	81.2
70～74	84	91.3	42	82.4
75～79	79	94.0	42	87.5
80～84	62	86.1	28	84.8
85～	5	100.0	-	-
該当数	740	76.3	408	69.4
回答数	970		588	

『年に1回以上、歯科医院で健診を受けていますか』の問いに「はい」と回答した人は、36.7%であり、前回調査よりも減少しており、60歳以上の年齢で減少している傾向があり、40歳代で前回より増加していた（図6）。

図6 年齢階級ごと年1回以上歯科健診を受けている人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	10	18.9	2	13.3
25~29	11	18.3	6	22.2
30~34	19	30.6	8	26.7
35~39	26	32.1	12	33.3
40~44	17	22.1	20	34.5
45~49	13	19.1	15	30.6
50~54	30	37.5	16	34.8
55~59	22	32.8	19	35.2
60~64	34	37.8	20	35.7
65~69	36	45.6	35	41.2
70~74	53	57.6	25	49.0
75~79	52	61.9	25	52.1
80~84	35	48.6	13	39.4
85~	4	80.0	-	-
該当数	362	37.3	216	36.7
回答数	970		588	

『たばこを吸いますか』の問いに「はい」と回答した人は、男性が36.7%、女性が9.2%であった。男性は若年者の喫煙（20~24歳の年齢階級で40.0%）は高齢者（65~74歳の年齢階級で26.6%）より多く、女性では25~54歳の年齢階級で1割を超えて喫煙していた（図7-1）。前年度と比較すると、35~69歳の年齢階級で多くなった（図7-2）。

図7-1 年齢階級ごと喫煙者の割合

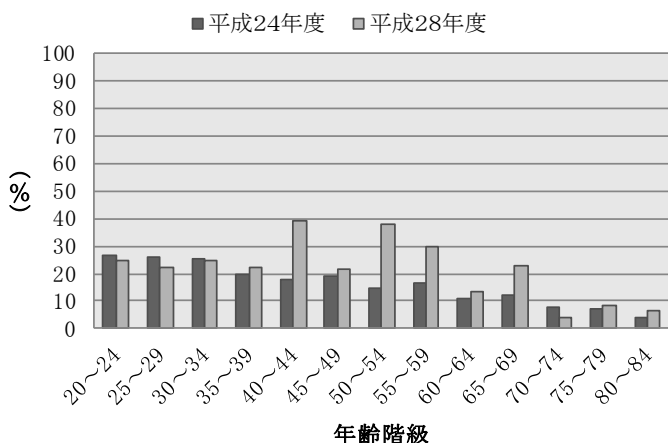
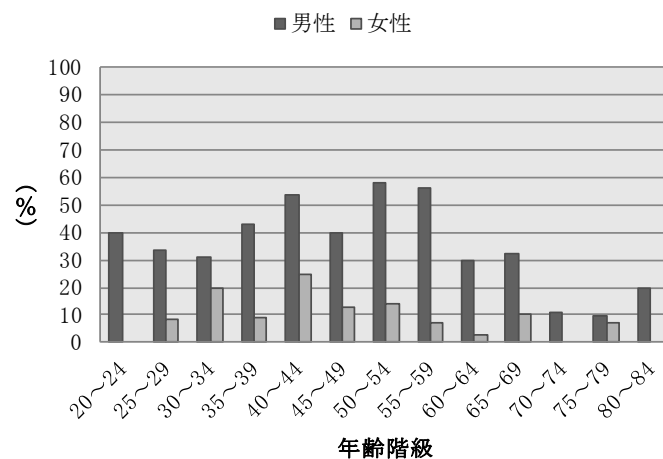


図7-2 男女別喫煙者の割合〔平成28年度〕



『喫煙はお口の健康に悪影響を及ぼすと思いますか』の問いには、75.8%が「思う」と回答し、喫煙率の高い男性でも7割以上が「思う」と回答した。

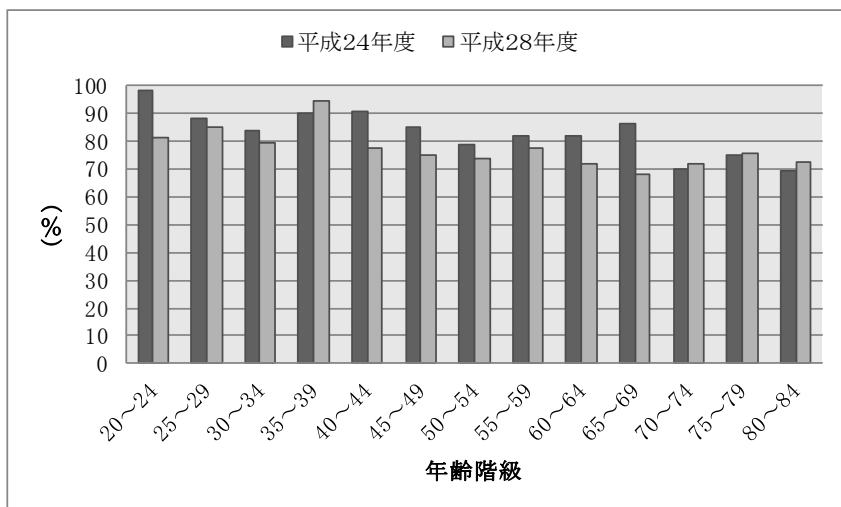
なお、前回と比較すると6.7ポイント減少し、ほとんどの年齢階級で減少していた（図8）。

『デンタルフロスや歯間ブラシを使っていますか』の問いには、約半数が「使っている」と回答し、ほぼ前回と同様であった（図9）。なお、毎日使用している人は50~59歳、65~84歳の年齢階級では2割以上であり、女性（53.4%）は男性（42.7%）より多く使っていた。

『使用している歯磨き剤はフッ素が入っているものですか』の問いには、半数以上が「入っている」と回答し、前回と比較すると8ポイント増加した（図10）。歯磨剤を使っていない者は、5.6%存在し

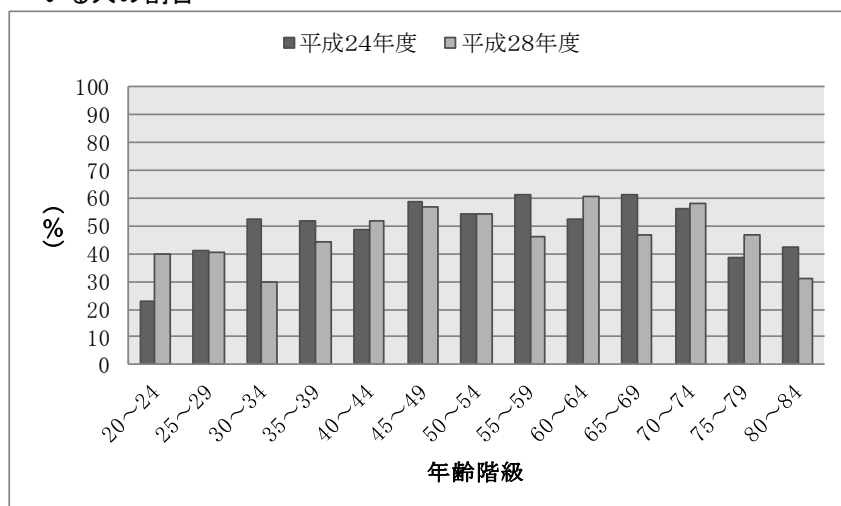
た（図11）。

図8 年齢階級ごと喫煙が口の健康に悪影響を及ぼさずと思う人の割合



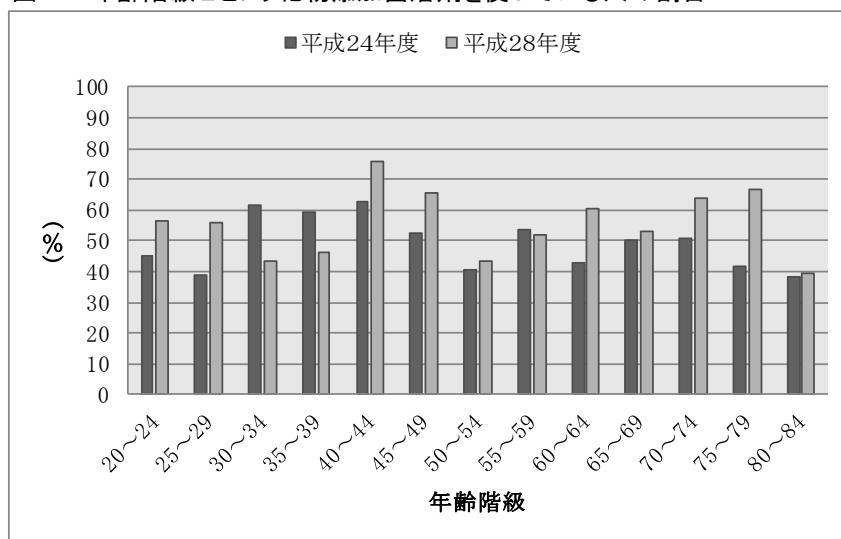
年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	52	98.1	13	81.3
25~29	54	88.5	23	85.2
30~34	53	84.1	23	79.3
35~39	72	90.0	33	94.3
40~44	70	90.9	45	77.6
45~49	57	85.1	36	75.0
50~54	64	79.0	34	73.9
55~59	54	81.8	42	77.8
60~64	72	81.8	41	71.9
65~69	68	86.1	57	67.9
70~74	61	70.1	36	72.0
75~79	57	75.0	34	75.6
80~84	47	69.1	21	72.4
85~	3	75.0	-	-
該当数	784	82.5	438	75.8
回答数	950		578	

図9 年齢階級ごと歯間清掃器具(デンタルフロスや歯間ブラシ)を使っている人の割合



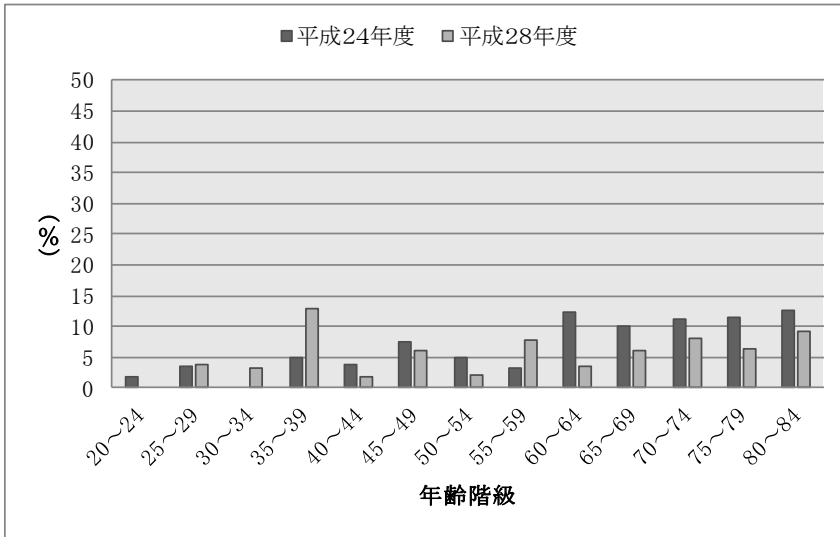
年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	12	22.6	6	40.0
25~29	25	41.0	11	40.7
30~34	33	52.4	9	30.0
35~39	42	51.9	16	44.4
40~44	38	48.7	30	51.7
45~49	40	58.8	28	57.1
50~54	45	54.2	25	54.3
55~59	41	61.2	25	46.3
60~64	48	52.2	34	60.7
65~69	49	61.3	40	46.5
70~74	51	56.0	29	58.0
75~79	31	38.3	22	46.8
80~84	30	42.3	10	31.3
85~	2	40.0	-	-
該当数	487	50.0	285	48.6
回答数	974		586	

図10 年齢階級ごとフッ化物添加歯磨剤を使っている人の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	24	45.3	9	56.3
25~29	23	39.0	15	55.6
30~34	38	61.3	13	43.3
35~39	48	59.3	18	46.2
40~44	49	62.8	44	75.9
45~49	35	52.2	32	65.3
50~54	33	40.7	20	43.5
55~59	35	53.8	27	51.9
60~64	38	42.7	34	60.7
65~69	40	50.0	43	53.1
70~74	45	50.6	32	64.0
75~79	33	41.8	32	66.7
80~84	27	38.0	13	39.4
85~	-	-	-	-
該当数	468	48.8	332	56.8
回答数	959		585	

図11 歯磨剤を使用していない人の割合

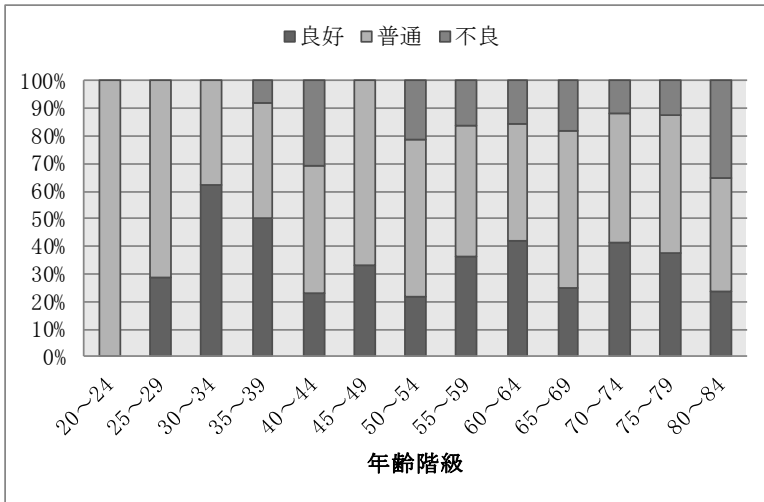


年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	1	1.9	-	-
25~29	2	3.4	1	3.7
30~34	-	-	1	3.3
35~39	4	4.9	5	12.8
40~44	3	3.8	1	1.7
45~49	5	7.5	3	6.1
50~54	4	4.9	1	2.2
55~59	2	3.1	4	7.7
60~64	11	12.4	2	3.6
65~69	8	10.0	5	6.2
70~74	10	11.2	4	8.0
75~79	9	11.4	3	6.3
80~84	9	12.7	3	9.1
85~	2	40.0	-	-
該当数	70	7.3	33	5.6
回答数	959		585	

(5) 口腔内診査所見について

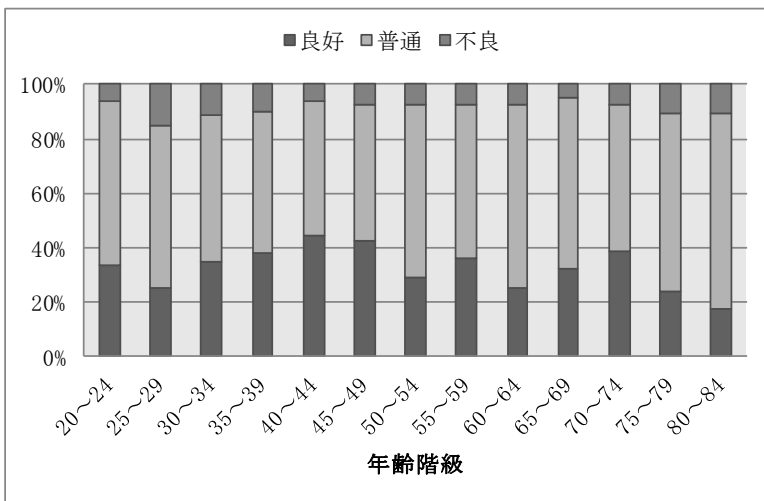
診査項目の口腔清掃状態では、「良好」が3割、「普通」が5割、「不良」2割であった。前回調査と比較すると「良好」が1.6ポイント増加したが、「不良」も6.9ポイント増加した(図12, 図13)。

図12 口腔清掃状態〔平成28年度〕



年齢階級 (歳)	良好		普通		不良	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	-	-	2	100.0	-	-
25~29	2	28.6	5	71.4	-	-
30~34	5	62.5	3	37.5	-	-
35~39	6	50.0	5	41.7	1	8.3
40~44	3	23.1	6	46.2	4	30.8
45~49	4	33.3	8	66.7	-	-
50~54	3	21.4	8	57.1	3	21.4
55~59	9	36.0	12	48.0	4	16.0
60~64	11	42.3	11	42.3	4	15.4
65~69	11	25.0	25	56.8	8	18.2
70~74	14	41.2	16	47.1	4	11.8
75~79	9	37.5	12	50.0	3	12.5
80~84	4	23.5	7	41.2	6	35.3
85~	-	-	-	-	-	-
計	81	34.0	120	50.4	37	15.5

図13 口腔清掃状態〔平成24年度〕

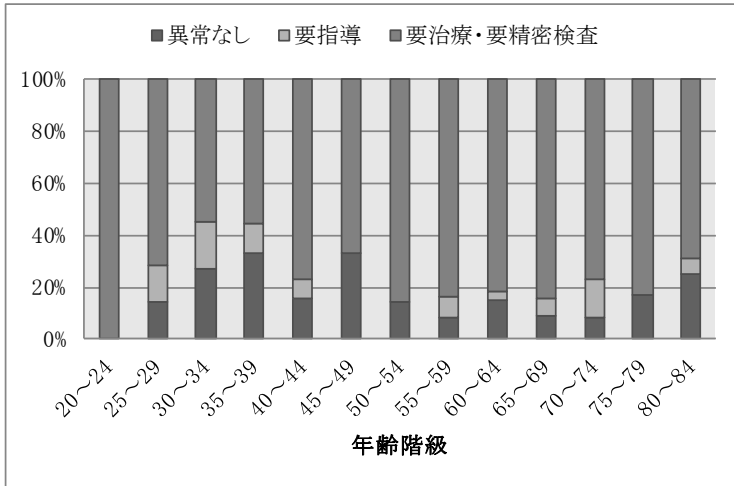


年齢階級 (歳)	良好		普通		不良	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	17	33.3	31	60.8	3	5.9
25~29	15	25.0	36	60.0	9	15.0
30~34	22	34.9	34	54.0	7	11.1
35~39	31	38.3	42	51.9	8	9.9
40~44	35	44.3	39	49.4	5	6.3
45~49	29	42.6	34	50.0	5	7.4
50~54	24	29.3	52	63.4	6	7.3
55~59	24	36.4	37	56.1	5	7.6
60~64	23	25.0	62	67.4	7	7.6
65~69	26	32.5	50	62.5	4	5.0
70~74	36	38.7	50	53.8	7	7.5
75~79	20	24.1	54	65.1	9	10.8
80~84	13	17.3	54	72.0	8	10.7
85~	2	40.0	2	40.0	1	20.0
計	317	32.4	577	59.0	84	8.6

健康判定区分では、「要治療・要精密検査」が77.8%、「要指導」が7.1%、「異常なし」が15.1%であり、前回と比較すると「要治療・要精密検査」が8.8ポイント増加した（図14，図15）。男女別では女性の方が「要治療・要精密検査」が少なかった。

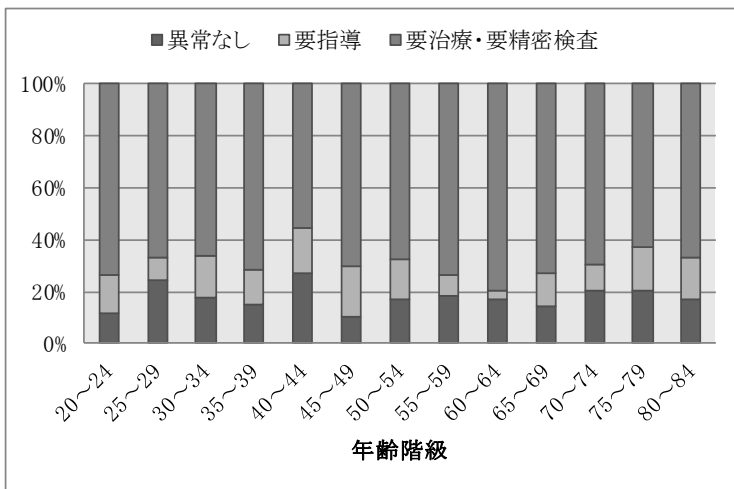
「要治療・要精密検査」の項目の内容は、「むし歯」が46.7%、「欠損歯あり」が47.8%、「歯周病」が64.8%、「その他」が3.3%であった（図16）。「歯周病」と「むし歯」がどの年齢でも多かった。

図14 健康区分判定〔平成28年度〕



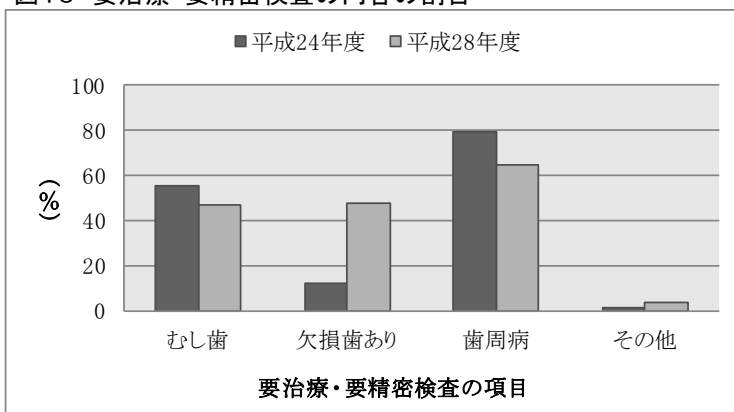
年齢階級 (歳)	異常なし		要指導		要治療・要精密検査	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	-	-	-	-	2	100.0
25~29	1	14.3	1	14.3	5	71.4
30~34	3	27.3	2	18.2	6	54.5
35~39	3	33.3	1	11.1	5	55.6
40~44	2	15.4	1	7.7	10	76.9
45~49	4	33.3	-	-	8	66.7
50~54	2	14.3	-	-	12	85.7
55~59	2	8.0	2	8.0	21	84.0
60~64	4	14.8	1	3.7	22	81.5
65~69	4	9.1	3	6.8	37	84.1
70~74	3	8.6	5	14.3	27	77.1
75~79	4	16.7	-	-	20	83.3
80~84	4	25.0	1	6.3	11	68.8
85~	-	-	-	-	-	-
計	36	15.1	17	7.1	186	77.8

図15 健康区分判定〔平成24年度〕



年齢階級 (歳)	異常なし		要指導		要治療・要精密検査	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
20~24	6	11.3	8	15.1	39	73.6
25~29	15	24.6	5	8.2	41	67.2
30~34	11	17.7	10	16.1	41	66.1
35~39	12	14.8	11	13.6	58	71.6
40~44	21	26.9	14	17.9	43	55.1
45~49	7	10.4	13	19.4	47	70.1
50~54	14	16.9	13	15.7	56	67.5
55~59	12	18.5	5	7.7	48	73.8
60~64	15	16.9	3	3.4	71	79.8
65~69	12	14.6	10	12.2	60	73.2
70~74	19	20.7	9	9.8	64	69.6
75~79	17	20.2	14	16.7	53	63.1
80~84	13	17.3	12	16.0	50	66.7
85~	2	40	-	-	3	60.0
計	176	18.0	127	13.0	674	69.0

図16 要治療・要精密検査の内容の割合



年齢階級 (歳)	平成24年度		平成28年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
むし歯	271	55.5	85	46.7
欠損歯あり	59	12.1	87	47.8
歯周病	388	79.5	118	64.8
その他	6	1.2	6	3.3
総数	488		182	